

病院長名 松浦 俊博

〒474-8511

所在地 愛知県大府市森岡町七丁目 430 番地

交通案内 JR 東海道線 大府駅よりバス約 10 分

□ 病院の特徴

国立長寿医療研究センターでは、高齢者の心と体の自立を促進し、健康長寿社会の構築に貢献するために、高い倫理性に基づく良質な医療、全人的・包括的な医療を提供することを理念としており、複数の疾患を有する患者が多いため、診療科別の縦割り診療ではなく、患者を全人的・包括的に診療できるような診療体制を構築しています。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

国立長寿医療研究センター内科専門研修プログラム

【研修期間】

3 年

1) 国立長寿医療研究センター（以下 NCGG (National Center for Geriatrics and Gerontology) と表記）を基幹施設とし、国と地域を支える内科専門医の育成を行います。また、厚生労働省所管の国立研究開発法人 国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター）として、「高齢者の心と体の自立を促進し、健康長寿社会の構築に貢献する」という基本理念のもと、診療を行うとともに、基礎医学・臨床・保健医療・公衆衛生を通じて国際的に社会貢献できる人材を育成しています。

2) 愛知県北部知多医療圏の中心的高齢者の高度先駆的医療を提供する NCGG を基幹施設として、NCGG 及び愛知県、希望があれば東京都、大阪府にある連携施設にて内科専門研修を行うものです。密な内科専門研修をこのプログラムで行うことにより、当該地域の医療事情を理解し、実情に合わせた実践的医療が行えるよう指導します。基本的臨床能力獲得後は、求められるニーズに対し柔軟に対応し、社会に貢献できる内科専門医を育成します。

3) 初期臨床研修を修了した内科専攻医は、本プログラム専門研修施設群での 3 年間（基幹施設 2 年間＋連携・特別連携施設 1 年間）に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

4) 内科領域全般の診療能力とは、臓器別の内科系サブスペシャリティ分野における、専門医にも共通して求められる基礎的な診療能力を指します。また、知識や技能に偏らずに、患者に対して人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得し、可塑性が高く様々な環境下で全人的な内科医療を実践する先導者の持つ能力です。



□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、南生協病院、東京大学医学部附属病院、東京医科大学病院、東京都健康長寿医療センター、住友病院、国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院、国立研究開発法人国立がん研究センター東病院、国立研究開発法人国立循環器病研究センター

□ メッセージ

指導医：病院長 松浦俊博

国立長寿医療研究センターは、高齢者医療の専門施設であり、今後増加する高齢者に対する総合的な研修が可能です。32 人の内科医のうち 21 名が総合内科専門医で 19 名が臨床研修指導医であり強力な指導医態勢



です。また研究センターであることから、将来臨床研究をしていきたいと希望される先生には関連研修会も多く魅力的な環境と思います。

□ 募集要項

・採用予定人数	5 人
・給与／月額	43 万円程度
・当直回数／月	2 回程度
・当直料／回	20,000 円 1 回あたり
・その他	院内保育所有(週 1 回 夜間保育実施)
・応募連絡先	担当者 総務部人事課
	電話番号 0562-46-2311
	E メール nakagami@ncgg.go.jp